

ご支援いただいている皆様方へ



**Holy Hope Project**

竹下 力・静

〒272-0826 千葉県市川市真間 2-21-6

プレジール 102

TEL&FAX 047-322-2209 携帯 080-5460-1766

http://www.holyhope.net/ E-mail: takeshita@holyyhope.net

いつも、私たち夫婦の活動のためにお祈りいただきまして、誠にありがとうございます。

今年も本拠地市川の聖望教会を皮切りに、各地へと巡回奉仕が始まりました。教会の内外問わず、仕事とも両立しながら、必要な求めに応じて、巡回伝道・コンサート活動を展開してまいります。東北では、震災から満3年を迎えますが、未だに仮設住まいを余儀なくされている方もいらっしゃいます。こちらを引き続き、訪問していく予定です。

ぜひ、お祈りに覚えていただけましたら、幸いです。



1/26 仙台 シーサイド・バイブル・チャーチにて

### ■活動報告&予定

1月12日(日) 市川市 聖望キリスト教会 力・メッセージ/静・賛美

1月25日(土) 宮城県名取市 閑上地区みなし仮設 静・コンサート

(企画・保守バプ・船岡聖書バプテスト教会「ナオミの会」)

1月26日(日) 仙台市 単立 シーサイド・バイブル・チャーチ 力・メッセージ/静・賛美

2月1日(土) 東京都 お茶の水・東京プレーヤーセンター お昼の礼拝 力・メッセージ/静・賛美

2月9日(日) 横浜市・単立 シャローム福音教会 力・メッセージ

2月21,22日 宮城県気仙沼市 静・仮設コンサート (3.11いわて教会ネットワーク主催)

2月23日(日) 岩手県北上市 保守バプテスト・北上聖書バプテスト教会 力・メッセージ/静・賛美

3月7~11日 宮城県各地 3.11 東北メモリアルツアー 静・コンサート (with Migiwa 他)

(3月11日 東北支援3年目復興コンサート・宮城野区文化センター)

3月9日(日) 宮城県石巻市 単立 キリスト教会・石巻祈りの家 力・メッセージ

3月19~24日 沖縄県 アルファトラックス (CD発売元) 静・沖縄巡回コンサートツアー

3月30日(日) 川崎市 保守バプテスト・田園グレースチャペル 力・メッセージ/静・賛美

4月5日(土) 東京都 お茶の水・東京プレーヤーセンター お昼の礼拝 力・メッセージ/静・賛美

4月13日(日) 横浜市・単立 シャローム福音教会 力・メッセージ

### 各地教会でご奉仕いたします … 夫婦迷コンビ!? 説教&賛美での奉仕も、ぜひどうぞ!

説教については、初めての方でも楽しく、わかりやすく、聖書を味わっていただけるように心がけて参ります。無牧の教会、小さな伝道所などでもご活用ください。ご無理がなければ交通費程度のサポートをいただければ感謝ですが、無償でもお受けいたします。

静の賛美・コンサートについては、準備や音響設備等で実費が発生してしまうため、無償での奉仕はなかなか難しいのですが、まずはご相談ください。

### ★奉仕先教会募集★ 竹下静 全国巡回コンサート・ツアー計画中!

新CDの発売元であるアルファ・トラックスでは、普段は行きづらい全国各地での巡回コンサートを計画中です。下記巡回先での教会の皆様はぜひこの機会に。またお知り合いの教会などがありましたら、ぜひご紹介ください。

3/19~24 沖縄、4/16~20 静岡(東海)、5/14~18 大阪、6/17~22 四国、7/11~20 北海道

8/8~17 北陸/東北(日本海側)、9/19~28 九州、10/4~12 沖縄 (一部予定。記載以外の日程・地域も随時承ります。)

企画・お問い合わせ 竹下静ツアー事務局(アルファ・トラックス) TEL.044-322-9225 <http://alphatrax.net>

**「朝明けには喜びの叫びがある」詩篇 30:5**

竹下 力

今年の3月には、東日本大震災から満3年を迎えようとしています。被災地では、まだまだ復興途上にあるのが現状です。私たちができることは小さなことかもしれませんが、しっかりと現実を見据えた上で、自分たちにできることをしていく、静の場合には、歌で、主にある希望があることを伝えていきたい…、そう願って作ったのが、今回のCDとなっています。

残念な話なのですが、先の震災を「日本への神の裁きだ」と考えたクリスチャンもいたようです。

しかし、日本は地震でできたような国。私の実家、静岡なんて、私の小さいころから、必ず大きな地震が来ると言われ続けているんです。いざ本当に地震が来たら、それは神の裁きなのか…というところと違うわけですね。いつかは関東でも、また日本のどこかでは必ず、地震は起こるんです。

これが日本の自然、はじめから、そうなんです。ですが、私たち日本人は、その自然から、たくさんの恩恵を受けながら、生かされてきた民族でもあるわけです。

**詩篇 30:5 まことに、御怒りはつかの間、いのちは恩寵のうちにある。夕暮れには涙が宿っても、朝明けには喜びの叫びがある。**

この詩篇 30 篇は、ダビデが死に直面するような病気から回復した時に書いたと言われています。

「まことに、御怒りはつかの間…」、神様は、人間が考えるほどには、怒ったり、裁いたりしていない、むしろ人を裁いたり、怒ったりしているのは、私たち人間かもしれませぬ。実に、神様は、クリスチャンであってもなくても、私たち人間を、恩寵、恵みのうちに、生かしてくださっているのです。

毎年、正月には、夫婦で日の出を見に行くのですが、真冬の夜明け前、まだ日が出る直前というのは、一番、寒いんですよ。

ところが、太陽が顔を見せる瞬間、強烈な光とともに、太陽の熱を感じるわけですよ。

空気は動き出し、鳥たちは飛び立ち、生命が喜びの声を上げる。今日も日は昇り、私たちは、この太陽や自然界の恵みがあって、事実、生かされているんです。

人生は、本当に山あり谷ありです。

聖書には、神様を信じたら、人生順風満帆、すべてうまくいくなどとは書かれてはいません。むしろ患難がある、そう書かれています。クリスチャンでも、病気にもなれば、怪我もします。今まさに、苦しみ、悲しみの只中にある方もいらっしゃるかもしれませぬ。しかし、本当に怖いのは、患難そのものよりも、患難に直面した時の失望、絶望ではないでしょうか。

ですが、夕暮れには涙が宿っても、朝明けには喜びの叫びがある。

イエス・キリストもまた、この世に生まれて、苦しみがなかったわけでも、悲しみがなかったわけでもなく、あのカルバリの十字架をも背負い、死に打ち勝ち、復活の日の朝を迎えたお方です。希望に変わるまで、私たちの苦しみ、悲しみ、痛みをも一緒に負ってくださるのがイエス様です。

**30:6 私が栄えたときに、私はこう言った。「私は決してゆるがされない。」**

これは決して、この先、災難や不幸が起こらないということではありません。どんなに災難や不幸、夕暮れには涙が宿っても、朝明けには、必ず、必ず、喜びの叫びがある。神にあって、その希望を感じる続ける者の言葉ではないでしょうか。

そんな主にある希望を信じ続け、また励ましあい、希望を伝えていくものでありたいものですよ。